

令和元年度糸満市ふるさと応援寄附金活用事業 実績報告書

事業名 糸満市防災士養成事業

糸満市では、地域の防災力向上を目的とした「糸満市防災士育成事業」に、皆様から寄せられたご寄附を活用させていただきました。(糸満市ふるさと応援寄附金充当額：210,920 円)

糸満市防災士育成事業の目的について

災害発生時は、行政による「公助」、自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」が相互に機能することで被害を小さくできるとされています。本市においても、いざという時に備えた災害に強いまちづくりを推進する上で、平時から防災意識の啓発を図る環境作りが必要であります。

そこで本事業では、「平時における防災意識の啓発・訓練」、「地域における被災者支援活動」、「公的支援到着までの被害の軽減活動」等、地域の防災リーダーとして活躍が期待される意識・知識・技術を有する「防災士の養成」を目的として、①自主防災組織員の防災士資格取得の支援、②市職員の資格取得の2つの事業を実施いたしました。



① 自主防災組織員の防災資格取得の支援

充当額：150,000 円 (30,000 円/人 × 5 自治会)

市内の自主防災組織（自治会）に防災士を養成することで、災害時の実践的な対応が可能となる事、防災知識や活動の底上げが構築できるものと考え、資格取得に必要な費用の一部を助成しました。自主防災組織から推薦のあった5名が糸満市防災士育成補助金（ふるさと応援寄附金）を活用し、防災士の資格を取得しました。

② 市職員の資格取得

充当額：60,920 円（受講料 52,920 円・受験料 3,000 円・登録料 5,000 円）

市職員は、地域の自主防災組織（自治会）と連携しながら災害に対応する必要があり、防災に関する一定の知識が求められることから、防災部局職員 1 名が防災士の資格を取得しました。

防災士養成講座の誘致実施について

これまで防災士養成講座は県外において実施されていたため、受講者には受講料等の他に旅費負担がかかり資格取得が困難な状況にありました。しかし、今回の講座実施にあたっては日本防災士機構のご配慮により、近隣の豊見城市との共同による講座を下記のとおり県内で誘致実施し、ふるさと応援寄附金利用者の他にも多くの市民が防災士資格を取得しました。今後も地域の防災力及び市民の防災意識の向上を図る観点から、継続して講座誘致を行っていきたいと考えています。

この度は、災害に強いまちづくりを推進する糸満市にとって、貴重な人材となる防災士を数多く養成することができ、ふるさと応援寄附金が意義あるものに活用できたことを、ご寄附者に対してお礼申し上げて実績報告とさせていただきます。

防災士養成講座（2019.7.27-28） 場所：豊見城市役所 受講者：糸満市 32 名

●会場研修プログラム

	1 日目 [7/27]	2 日目 [7/28]
	(8:50~9:05) 受付 ・受講番号・氏名の確認 ・履修確認レポート「解答シート」の提出	(9:00~9:15) 受付 ・受講番号・氏名の確認
	(9:05~9:30) 開講の挨拶 オリエンテーション	(9:15~9:25) 「防災士制度」の紹介 （「防災士誕生10年の歩みを振り返る」ビデオの上映）
1時限目	(9:30~10:30) 地震のしくみと被害 〈中村 尚講師〉	(9:30~10:30) 災害情報と災害報道 〈藤藤さやか講師〉
2時限目	(10:40~11:40) 沖縄県の災害と被害想定 〈中村 尚講師〉	(10:40~11:40) 災害と流言・風評 〈藤藤さやか講師〉
3時限目	(11:50~12:50) 地域の防災活動 〈稲垣 統講師〉	昼食 （防災ビデオ上映）
3時限目	昼食 （防災ビデオ上映）	(12:40~13:40) 災害と危機管理 〈有浦 隆講師〉
4時限目	(13:50~14:50) 気象災害 〈岩見憲道講師〉	(13:50~14:50) 行政の災害対応 〈有浦 隆講師〉
5時限目	(15:00~16:00) 防災士の役割 〈曾根太一講師〉	(15:00~16:00) 土砂災害と対策 〈岩松 隆講師〉
6時限目	(16:10~18:20) 訓練と防災研修 災害国上訓練 〈講義並びに演習〉 〈曾根太一講師〉	(16:20~17:20) 防災士資格取得試験
7時限目		
8時限目	(18:20~18:30) 日本防災士会沖縄県支部からのお知らせ	
	(18:30~18:40) 事務連絡	

事業名 全国育樹祭事業

糸満市では、全国育樹祭事業に皆様から寄せられたご寄附を活用させていただきました。(糸満市ふるさと応援寄附金充当額：822,450 円)

全国育樹祭事業の目的について

2019年全国育樹祭が令和元年12月14日・15日に沖縄県開催となり、本市においては平成5年の第44回全国植樹祭が行われた「沖縄県平和創造の森公園」が、第43回全国育樹祭「お手入れ式」の会場となりました。本市は「お手入れ式」開催地として育樹祭への機運を盛り上げるため、会場へと繋がる沿道に花を設ける等、皇嗣同妃両殿下及び県内外からの来賓関係者等への歓迎事業を実施しました。

③ 花・プランター設置

充当額：495,000 円 (プランター330個 (マリゴールド8鉢・土入り))

本市「沖縄県平和創造の森公園」にて皇嗣同妃両殿下によるお手入れ式が行われるにあたり、会場へと繋がる沿道に花を設け、皇嗣同妃両殿下及び県内外からの来賓関係者等を歓迎しました。



④ 啓発用ステッカー

充当額：235,950 円 (ステッカー660個)

花・プランターに「第43回全国育樹祭」ステッカーを貼り、育樹祭への機運を盛り上げました。



⑤ 横断幕・懸垂幕の設置

充当額：82,500 円（横断幕 1 枚、懸垂幕 2 枚）

第 43 回全国育樹祭「お手入れ式」の開催地として育樹祭への機運を盛り上げるため、市役所に横断幕・懸垂幕を設置。



⑥ その他（切手）について

充当額：9,000 円

沖縄県育樹祭推進室との調整や全国育樹祭への市内招待者等との調整に使用。

全国育樹祭事業の実施について

第 43 回全国育樹祭「お手入れ式」開催地として、皇嗣同妃両殿下及び県内外からの来賓関係者を快く歓迎する環境を作ることができ、ふるさと応援寄附金が意義あるものに活用できたことを、ご寄附者に対してお礼申し上げて実績報告とさせていただきます。

事業名 平和の語り部育成事業

研修期間 令和元年 7月～12月

研修生 16名（研修生：中学生6名、OB：中学生4名、高校生6名）

趣旨 "糸満市は沖縄戦終焉の地であり、毎年6月17日から23日の一週間を平和週間として条例で定めている。「いのりのまち」として、平和啓発事業を幅広く展開し、戦争体験をしていない世代へ、平和の尊さと戦争の悲惨さを正しく伝えなければならないが、戦争体験者が高齢化により年々少なくなり語り継ぐことが難しくなっている状況がある。

本事業では、沖縄戦体験者から児童・生徒が直接話を聞く機会を設け、継承に関わる人材育成に繋げるため、市内の児童・生徒を対象に、戦争体験者講話及びボランティアガイド研修を実施する。"

研修内容

①事前研修

- ・観光協会ガイドによるガイド講話、平和の伝え方について
- ・一中学徒隊資料展示室解説員による講話
- ・伊江島観光協会による伊江島の戦災状況等の解説

②宿泊研修

- ・伊江島へ派遣

目的：沖縄県中北部の戦災状況について学び、糸満市と比較することで学びを深める

③ボランティアガイド研修

- ・沖縄戦体験者の講話を聴く
- ・市内の戦跡や沖縄戦関連施設等を訪ね、情報収集をする
- ・集めた情報をまとめて各自で資料を作成し、現場で発表の練習をする
- ・最終回では研修生がガイドとなり、保護者や学校関係者を実際に案内する

研修スケジュール

7月20日（土）	座学	<ul style="list-style-type: none">・ガイド講話「ガイドの心得、平和の伝え方」 伊出 佳代子（糸満市観光協会ガイドの会）・講演「一中学徒隊について」 大田 光（一中学徒隊資料展示室解説員）・後援「伊江島の戦跡について」 古堅 幸一（伊江島観光協会会長）
----------	----	--

【おきなわピースフェスタ 2019】

7月27日(日)	沖縄市農民研修センター	県内9市町村平和大使の交流会及び合同研修	
----------	-------------	----------------------	--

【ボランティアガイド研修】

8月3日(土)	現場実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ひめゆり資料館見学 ・ガイドコースのポイント視察
8月24日(土)	現場実習 座学	<ul style="list-style-type: none"> ・南風原文化センター見学 ・体験者講話事前学習
9月7日(土)	座学	<p>体験者講話</p> <p>①大城 藤六「少年兵としての体験」</p> <p>②上原 美智子「少女が見た沖縄戦」</p> <p>グループ学習</p>
10月5日(土)	現場実習 座学	<p>ガイド実践</p> <p>グループ学習</p>
11月16日(土)	現場実習 座学	<p>ガイド実践</p> <p>グループ学習</p>
12月7日(土)	現場実習 座学	<p>ガイド実践(リハーサル)</p> <p>グループ学習</p>
12月21日(土)	現場実習 修了式	<p>ガイド実践(修了試験)</p> <p>修了式</p>

【宿泊研修】

10月12(土) ~10月13 (日)	読谷村 伊江島	沖縄県中北部の戦災状況について学ぶ
---------------------------	----------------	-------------------

事業名 地場産品販路拡大支援事業

糸満市商工水産課では、地場産品等販路拡大事業に皆様から寄せられたご寄附を活用させていただきました。

目的について

沖縄県内や姉妹都市・友好都市等において「物産展」等を開催し、本市地場産品（観光商品含む）の販路拡大や観光誘客を図り、本市商工業の振興支援及び姉妹都市・友好都市との経済交流に寄与することを目的とし事業を実施しました。

① 姉妹都市・友好都市等において糸満ブランドイメージを発信する物産・観光展の開催

糸満市の物産を全国へ広めるため、糸満市と交流のある姉妹都市や友好都市において物産展を開催し、糸満市の物産のPRや観光の案内を行い、市のブランドイメージを発信する事業を展開しました。

i あつぎ鮎祭りへの出店

令和元年8月3日、4日の日程で、厚木市で開催された「あつぎ鮎祭り」において糸満の観光物産展を開催しました。

海ぶどう、マンゴー、黒糖、泡盛などの糸満らしい商品をPRすることができました。また、糸満市の地場産品販路拡大キャラクター「いとちゃん」も厚木市公認キャラクター「あゆころちゃん」と一緒にパレードへ参加し糸満市をPRすることができました。



ii あばしり七福神まつりへの出店

令和元年9月7日、8日の日程で「あばしり七福神まつり」において物産展を開催しました。七福神まつりへの出店は4年連続となっており、糸満市の物産の知名度が年々高まっています。

これまでの定番商品のサターアンダギー、泡盛、黒砂糖などを始め、ジーマーミ豆腐や島らっきょう等の新商品も試食販売を行うことで、糸満の再発見につながり新商品のPRをすることができました。



iii 都農産業まつりへの出店

令和元年12月1日に開催された「都農産業まつり」において物産展を開催してきました。

沖縄そばの実演販売や海ブドウの試食を提供するなど工夫をこらし、糸満市の物産をPRすることができました。

また、舞台において「糸満〇×クイズ」を行うことで、糸満市の魅力を伝えることができました。



② 県内において糸満ブランドイメージを発信する物産展（糸満フェア）の開催

糸満市地場産品を県内へPRする機会の確保とその促進を行うため、毎年1月頃に「糸満フェア」と称した糸満の物産展を「道の駅いとまん」において開催し、多くの県民・市民・観光客等に糸満市の地場産品に見て触れていただくことで、糸満市の地場産品がもつ糸満ブランドを発信していくことを目的としています。

糸満フェアでは、糸満市内事業者による特産品販売、市民団体などのステージイベント、まぐろ1本・やぎ1頭が当たる大抽選会、友好都市等による出張販売等があり、市内外から多くのお客様が来場し糸満ブランドをPRすることができました。

また、今回は2日間での来場者数が24,000名となり、昨年度よりも約1万名増えたことから、糸満フェアの知名度が年々上がってきていることが実感できました。

事業名 トルコ視覚障がい者協会パラリンピック事前強化合宿事業

糸満市では、観光振興や商工振興など地域活性化を目的としたトルコ視覚障がい者協会パラリンピック事前強化合宿事業に、皆様から寄せられたご寄附を活用させていただきました。（糸満市ふるさと応援寄附金充当額 179,246 円）

トルコ視覚障がい者協会パラリンピック事前強化合宿事業

国を挙げての取り組みとなる「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた選手団の事前合宿に協力し、「おもてなしの心」で選手団を迎えることで観光振興や商工振興など地域活性化を図ることを目的に実施いたしました。

① 空港での歓迎式（令和元年10月24日（木）、那覇空港）

トルコ視覚障がい者スポーツ協会選手団（14名）、沖縄県体育協会（2名）、糸満市経済観光部商工観光課（3名）、糸満市観光協会（1名）
（充当額：横断幕 39,600 円 花束 沖縄県体育協会負担）



② 交流会（令和元年10月28日（月）、島ぬ音）

トルコ視覚障がい者スポーツ協会選手団（14名）

副市長、教育長、指導部長、商工観光課長、市議会議員、市議会副議長、糸満市観光協会（2名）、糸満市体育協会（1名）、沖縄県体育協会（1名）、商工観光課職員（3名）

（充当額：選手団食糧費 64,350 円、記念品（14名） 65,000 円、※その他参加者は自己負担）



トルコ視覚障がい者スポーツ協会選手団
団長あいさつ（エレン・ユルドゥルム）



糸満市から選手団団長に記念品贈呈
トルコから糸満市に記念品の贈呈



交流会後の島ぬ音前にて集合写真

③ トライアスロンクラブで競技場を使用していた子ども達との交流（令和元年10月28日）



④ 練習風景



⑤ 練習後のアイシング（令和元年 10 月 25 日～31 日）

練習後に筋肉の疲労回復力を高めるためアイシングを実施

（充当額：氷代 10,296 円）



⑥ 運動会見学

西崎陸上競技場の近隣にある光洋小学校において運動会が行われており、見学を希望したので、予定を変更して運動会を見学。

トルコではこのような行事がないので、非常に興味深く面白い（イスマーエル・カラギョズ）



⑦ 全日程終了後、サザンビーチホテルを出発し空港へ（令和元年 11 月 1 日）



トルコ視覚障がい者協会パラリンピック事前強化合宿事業実施にあたって

東京2020パラリンピック競技大会の事前合宿として行った事業となっており、観光振興等を目的として実施したが、選手のタイトなスケジュールのため市内の観光PR等が十分ではなかったと感じている。また子ども達との学校給食を通しての交流やトルコの紹介等、他の交流方法も実施したかった。

選手団からは、「また大会前に糸満市を訪れたい」と話しており、「おもてなしの心」は伝わったのではないかと感じた。

この度は、観光振興等の活性化に取り組む本市のトルコ視覚障がい者パラリンピック事前合宿事業に糸満市ふるさと応援寄附金を活用させていただきありがとうございました。

担当部署：糸満市経済観光部 商工観光課 観光振興係

事業名 糸満市水産振興センター（仮称）設置事業

1. 事業概要

糸満市字喜屋武地内に予定されている「糸満市水産業振興センター（仮称）」は、糸満市の水産業振興を目的とし、沖縄県水産海洋研究センターとの連携、水産業イノベーション（起業支援）の創出を図るため設置する。また、平和の道線の開通に伴い、水産業の6次産業化による特産品の提供、拠点づくりを目指す。

本業務では、糸満市水産業振興センター（仮称）の第2次事業として計画されている藻類養殖の中でも、CO2 を添加した海水を利用した新技術による海ぶどう養殖施設、将来に向けた新たな担い手の育成を目的とした実施計画書の策定を行った業務である。



図 1.1 糸満市水産業振興センター（仮称）位置図

2. 計画概要

(1) 施設計画について

施設配置については利用者が安全で容易に活用出来るよう車両同線を区分し、安全かつ機能的な配置とした。

養殖棟は出荷作業エリアを中心に2棟配置し、ハウス内に養殖用、養生用、選別用、母海藻用の水槽を設けた。



図 2.1 配置イメージ図

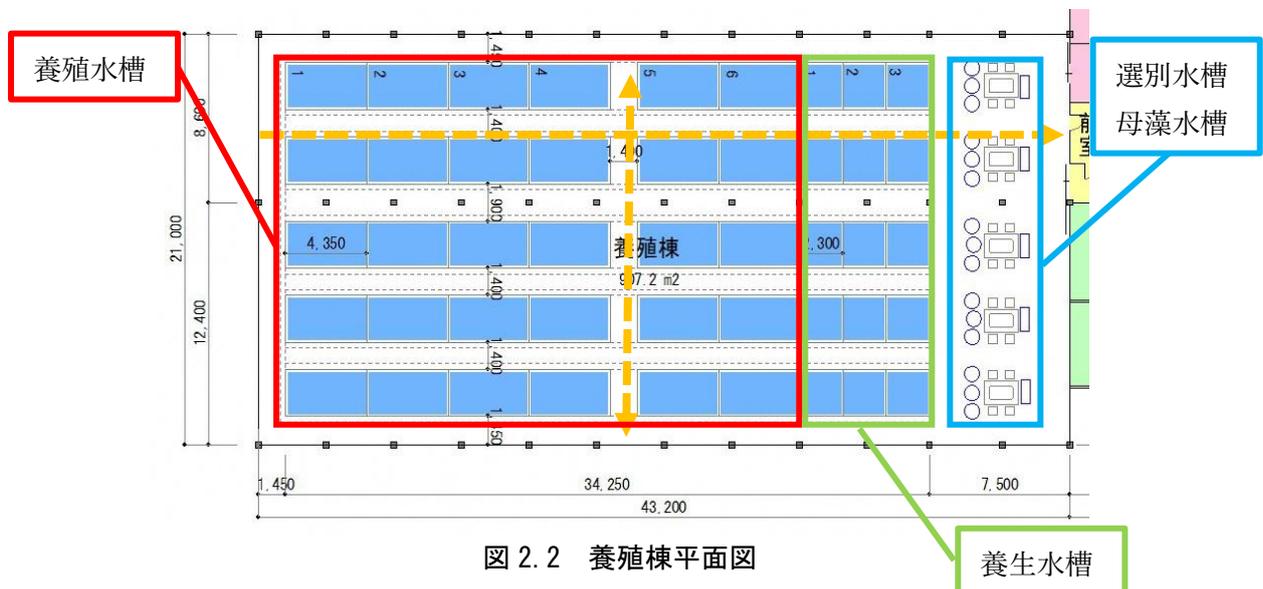


図 2.2 養殖棟平面図

海ぶどう養殖では水槽内の海水温度が重要である。冬場の低温時、夏場の30℃を超える高温時では海ぶどうの成長、品質等にも影響が出てくるため、今回の計画においては取水した海水温度を安定化させるための解決策として以下の方法を取り入れた施設計画とした。

・解決策①：室内温度管理

水温には室内温度も関係しており、養殖ハウス内の室内温度を下げるために、屋根材へ断熱効果のある素材の利用、ミストによる蒸発冷却、壁面に開閉できるアルミサッシを設け風通しを良くすることで、自然を利用した室内温度管理の計画を行った。

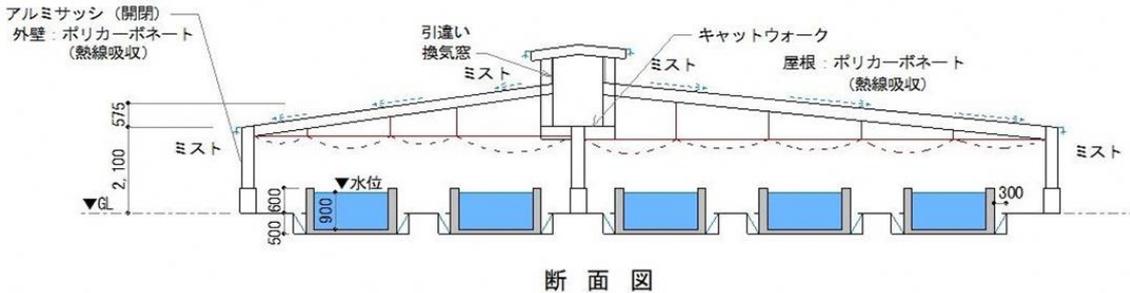


図 2.3 施設のイメージ図

・解決策②：海水温度管理

海から取水した海水温度は夏場 30℃程度になると考えられ、取水した海水を海ぶどう養殖に適した温度まで下げる必要がある。そこでいくつかの方法を検討した結果、地下にタンクを埋め込み、安定した地中温度を利用した水温調整方法を採用することとした。

地下の濾過・貯水タンクを経由し3日間で水温が約25℃程度まで下がると想定される。

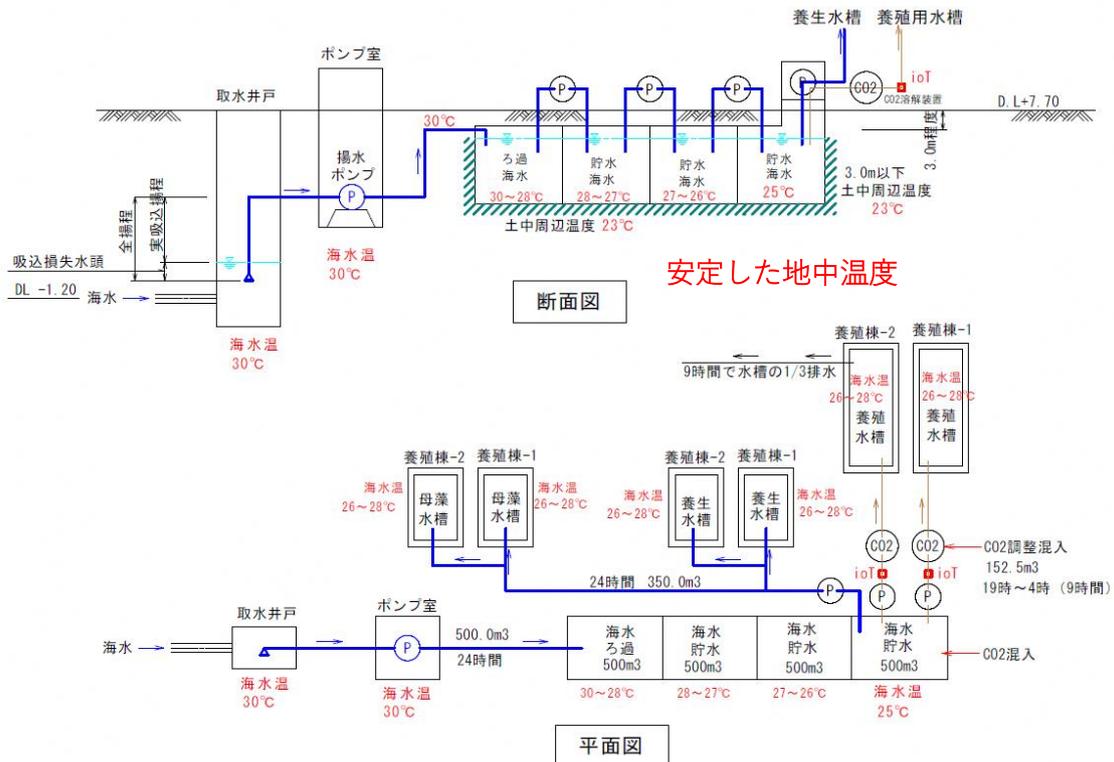


図 2.4 海水温度安定化の仕組み

(2) 取水施設検討

取水地点及び取水ルートについては当該施設予定地の非常に厳しい自然状況等を考慮し下記の位置から取水することとした。

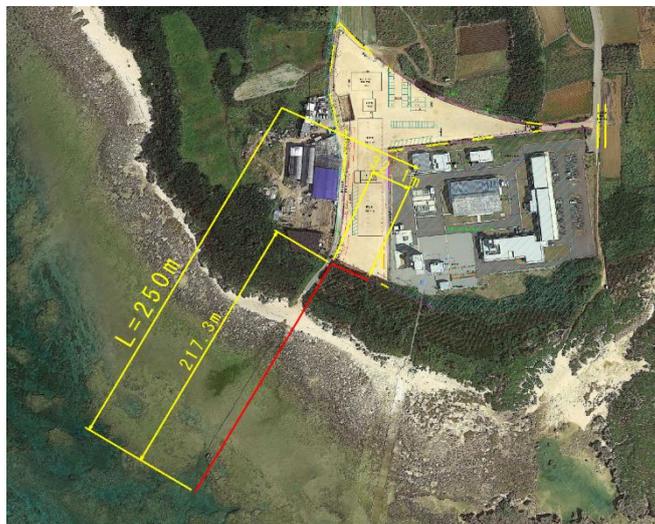


図 3.1 取水地点及び取水ルート

取水方法は、以下の 3 案を比較検討した結果、“サイフォン式”を採用した。

- ・ 第 1 案：水中ポンプ式
- ・ 第 2 案：自吸式ポンプ式
- ・ 第 3 案：サイフォン式(採用)

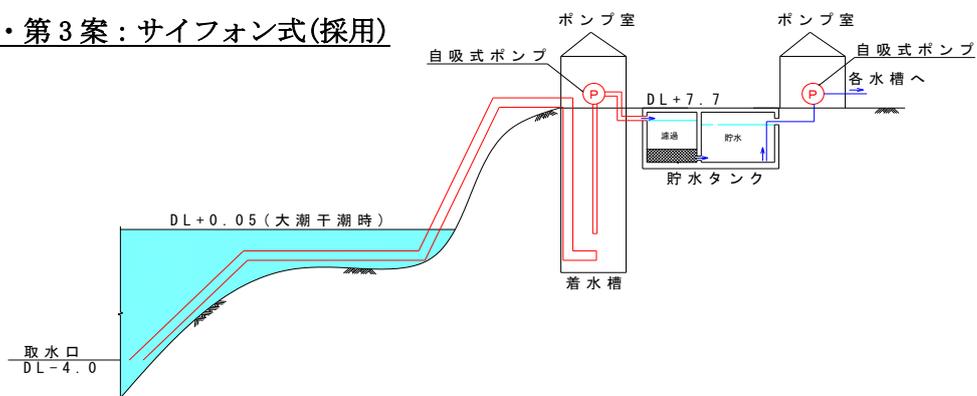


図 3.2 サイフォン式による取水概図

※サイフォンの原理とは

高い位置にある水槽に大気がかかる事により水がホースを通り、低い位置にあるバケツに流れる原理である。



図 3.3 サイフォンの原理を利用事例 (水槽の水替え)

事業名 ラウンドアバウト普及促進事業

令和元年度「ラウンドアバウトサミット in いとまん」の開催報告

令和元年 11 月 21 日(木)、22 日(金)の 2 日間にわたり、「ラウンドアバウトサミット in いとまん」を開催しました。

全国の自治体職員や警察関係者、一般の方等 1 日目の講演会には 272 人、2 日目の現地視察に 75 人の方々にご参加いただきました。

【1 日目：講演会】

◆国からの情報提供

「環状交差点の整備状況」

警察庁交通局交通規制課規制担当補佐(警視)

大北 良弘 氏

「ラウンドアバウトを巡る最近の動向について」

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路交通研究部道路交通安全研究室長

小林 寛 氏

◆講演

「沖縄型ラウンドアバウトに向けて」

琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース准教授

神谷 大介 氏

◆取組事例報告

沖縄県糸満市、沖縄県うるま市、沖縄県、長野県飯田市、静岡県焼津市

(報告順)

◆会場(サザンビーチホテル&リゾート沖縄)



◆取組報告



◆ポスターセッション



【2日目：現地視察】

◆整備中の「糸満ロータリーラウンドアバウト」、供用済みの「うるま市ラウンドアバウト」の2か所を視察し、現地では担当職員による説明、参加者からの質疑応答を行いました。

糸満ロータリーラウンドアバウト視察状況



うるま市ラウンドアバウト視察状況



令和元年度研修会 決算報告

収入金額 1,000,000 円
 支出金額 879,230 円
 差引金額 120,770 円

【収入】

単位:円

科目	決算額	備考
補助金	879,230	糸満市補助金より
合計	879,230	

【支出】

単位:円

科目	決算額	備考
研修会運営費	879,230	次頁のとおり
合計	879,230	

事業名 姉妹都市・友好都市青少年交流事業

令和元年度宮崎県都農町・糸満市青少年交流事業

糸満市教育委員会では、皆様より寄せられた寄附金を糸満市内の小学生を対象に、姉妹都市である宮崎県都農町への「青少年交流派遣事業」に活用しました。

【令和元年度宮崎県都農町・糸満市青少年交流事業】

本事業は、宮崎県都農町と糸満市の子どもたちが、お互いに見聞を広め、規律ある団体行動により協調と連帯の精神及び自主性を養うとともに、子ども達相互の友情と信頼を深め、次代を担う少年リーダーの養成を目的に実施したもので、令和元年7月26日（金）から7月29日（月）にかけて、糸満市代表の小学生9名と引率者4名が都農町を訪問しました。

派遣生徒 米須小学校2名、兼城小学校2名、糸満南小学校2名、
光洋小学校2名、西崎小学校1名 計9名

引率者 糸満市子ども会育成連絡協議会会長 1名 糸満市職員3名 計4名

<1日目>

○西都原考古博物館



○西都原古墳見学



○歓迎式（都農町役場）



<2日目>

○都農神社



○都農ワイナリー工場見学



○川遊び（尾鈴山キャンプ）



○梨狩り、ぶどう狩り（まるみ観光果樹園）



※2日目の夕方から3日目はホームステイ交流。

<4日目>

○お別れセレモニー（都農町役場）



令和元年度 糸満市・都農町少年交流事業日程表

期 日	時 間	内 容
初 日 7月26日(金)	8:55 10:15 12:00 13:00 14:30 16:00 16:40 17:00 18:00	那覇空港出発 鹿児島空港到着 昼食(道の駅えびの) レストラン出発 【えびのIC～西都IC】 宮崎県立西都原考古博物館到着 〃 出発 都農町役場到着 歓迎式(歓迎のあいさつ・自己紹介等) 宿舎到着【AZホテル TEL 0983-25-3301】
二日目 7月27日(土)	8:50 9:00 10:00 10:10 11:30 12:30 13:00 15:00 15:30 16:50 17:00	糸満市団員宿舎出発・都農町団員神社集合 都農神社到着(神社参拝・道の駅見学) 道の駅 出発 都農ワイン工場到着(施設見学) 昼食(ワイナリーカフェ) ワイナリー出発 尾鈴キャンプ場到着・矢研の滝見学・川遊び等 尾鈴キャンプ場出発 観光農園到着(梨試食・梨狩り) 観光農園出発 役場到着・解散 各自ホームステイ先へ
三日目 7月28日(日)	終日ホームステイ先にて交流・自由行動	
最終日 7月29日(月)	8:30 8:50 9:00 9:15 10:02 11:50 13:00 16:30 17:40 19:05	ホームステイ先から都農町役場に集合 お別れセレモニー 都農町役場出発 都農駅 到着 JR宮崎空港行電車乗車 〃 出発 宮崎駅 到着 宮崎駅構内で買い物 昼食(宮崎市内) レストラン出発 鹿児島空港到着 〃 出発 那覇空港到着

<事業成果>

この事業を通し、参加した糸満市の小学生団員は、沖縄では見られない大自然を肌で感じ、人情あふれる都農町の人々とのふれあいやホームステイ等を通して貴重な経験を得ることができました。また、子どもたちがお互いに協力しあうなど、協調と連帯の精神が養われ、少年リーダーの育成にも貢献できたものと思います。

両町市の子どもたちが、今後の都農町と糸満市の友好の架け橋となることが期待されます。

皆様の応援に感謝しております。ありがとうございました。

令和元年度北海道網走市・神奈川県厚木市青少年交流事業

糸満市教育委員会では、皆様より寄せられた寄附金を糸満市内の中高生を対象に、友好都市である北海道網走市、神奈川県厚木市との「青少年交流事業」に活用しました。

【令和元年度北海道網走市・神奈川県厚木市青少年交流事業】

本事業は、友好都市である北海道網走市、神奈川県厚木市、そして糸満市の三市の青少年が互いの文化を理解し合うこと、また、平和学習を通して戦争の悲惨さと平和の尊さについて改めて考えること、そして、参加する青少年が三市を結ぶ次世代の懸け橋となることを期待して実施したもので、令和元年8月7(水)から8月10日(土)にかけて、網走市団員4名と厚木市団員6名が糸満市を訪問し、糸満市からは中学生4名と高校生3名が糸満市団員として参加しました。

糸満市団員 兼城中学校1名、高嶺中学校1名、西崎中学校2名、
糸満高校2名、沖縄尚学高校1名 計7名

引率者 網走市職員1名、厚木市職員2名、糸満市職員1名 計4名

<1日目>

○市長表敬訪問（糸満市役所3階 庁議室）

網走市、厚木市の中学生の皆さんは、糸満市のことや沖縄の文化や歴史について熱心に市長に質問しました。



○歓迎会（ふくらしゃ館）

網走市、厚木市、糸満市の団員と糸満市役所職員等で合わせて41名が参加しました。



<2日目>

○平和学習（平和祈念公園内）

平和ガイドが神奈川の塔について説明しました。
網走市・厚木市・糸満市の中学生は静かに集中して聞いていました。



○平和学習（ひめゆりの塔）

平和ガイドによる説明の後、資料館に入り、一人一人が集中して文書や写真・映像を見て、戦争について考えていました。



○平和学習（轟の壕）

轟の壕に入り実際に壕内の雰囲気を感じました。



○平和学習（魂魄の塔）

戦後の沖縄で最初に建てられた慰霊塔である魂魄の塔の説明を集中して聞いていました。



○平和学習ワークショップ

平和学習の後に、糸満市役所で平和学習ワークショップを行いました。ひかり班・みどり班・いの班に分かれて、与えられた課題について話し合い、その中で出た意見をまとめ、発表しました。



<3日目>

○美ら海水族館

美ら海水族館では、自由に見学しました。3日目ということもあり、三市の団員がお互いに仲良く交流している様子がみられました。



○琉球ガラス村

琉球ガラス村では、フォトフレームを作りました。



○レクリエーション（真壁小学校体育館）

糸満市団員と網走市・厚木市団員のお別れの前に、皆でバスケットボールをして楽しみました。最後には、全員が一つの輪になり友情を深めました。



○夕食（がりがり一大城）

糸満市の交流生徒とお別れした後、がりがり一大城で夕食とサーターアンダギー作り体験を行いました。店主から沖縄料理の説明やサーターアンダギーの作り方を学びました。網走市・厚木市の団員は、沖縄料理に興味津々でした。



<4日目>

○首里城

最終日は主に、世界遺産である首里城を見学し、沖縄の歴史について学びました。



令和元年度 北海道網走市・神奈川県厚木市青少年交流事業 日程表		
期日	時間	内容
初日	9:50	女満別空港 出発(JAL562便) (網走市交流団出発)
	11:40	羽田空港 到着 (厚木市交流団と合流)
8月7日 (水)	12:30	羽田空港 出発(JAL915便)
	14:20	マイクロバス 市役所出発
	15:05	那覇空港 到着
	16:15	糸満市役所 到着
	16:30	網走市・厚木市交流団 市長表敬訪問(～17:10)
	17:15	教育委員会にて教育長の激励(～17:25)
	17:30	歓迎会、エイサー体験(～19:00)
	19:30	網走市・厚木市交流団 ロッジ到着
2日目 8月8日 (木)	8:20	平和ガイド中学生 糸満市交流団 市役所集合&ロッジへ出発
	8:30	マイクロバス ロッジ到着
	9:00	公園内見学(～9:50)
	9:55	平和講話(久保田先生)(～11:00)
	11:15	平和祈念資料館展示ブース見学(～12:10)
	12:25	レストラン到着(優美堂)
	12:30	昼食(～13:30)
	13:30	ひめゆりの塔説明、資料館見学(～14:55)
	15:00	轟壕
	16:00	北霊碑、魂魄の塔見学(～16:20)
	16:45	市役所着
	17:00	ワークショップ(～18:30)
18:30	三市合同交流会(～20:00)	
20:30	ロッジ到着	
3日目 8月9日 (金)	7:00	朝ごはん(ロッジ)
	7:45	マイクロバス ロッジへ出発
	8:00	マイクロバス ロッジ到着
	10:00	海洋博公園到着、美ら海水族館見学(～12:20)
	12:30	名護A&Wへ移動
	13:00	名護A&W到着、注文、食事
	13:45	糸満市へ移動
	15:40	琉球ガラス村到着、フォトフレーム作り体験(～16:45)
17:00	真壁小体育館にてレクリエーション(～18:00)	
8月10日 最終日 (土)	18:00	糸満中学生 お別れ(交流終了)
	18:15	夕食(がりがりーおおしろ)(～20:20)
	21:00	ロッジ到着
	7:00	朝ごはん(ロッジ)
	8:45	マイクロバス ロッジ到着
	9:25	首里城到着、見学(～10:45)
	11:00	モノレール首里駅到着、乗車(～11:30)
	11:30	那覇空港到着、糸満市案内メンバー解散
14:05	那覇空港 出発(JAL910便)	
16:40	羽田空港 到着 (網走市・厚木市交流団解散)	
17:45	羽田空港 出発(JAL569便)	
19:30	女満別空港 到着 (網走市交流団到着)	

<事業成果>

この事業を通し、糸満市交流団員(ジュニアリーダー)と網走市・厚木市の団員の生徒が三市交流を経験することで、お互いの文化を理解し合い友好を深めることができたことは、糸満市の団員にとっても大きな財産となり、次世代を担う青少年の育成に貢献できたものと思います。

また、網走市・厚木市の訪問団の生徒は、糸満市の歴史・文化に触れ、平和学習を通して戦争の悲惨さや平和の尊さについて学び、糸満市交流団員にとっても改めて戦争・平和について考える貴重な機会となりました。特に平和学習ワークショップでは、それぞれの考えをアウトプットすることで、三市の団員が共有し、学びをさらに深めることができました。

三市の子どもたちが、今後の網走市、厚木市、糸満市の友好の架け橋となることが期待されます。皆様の応援に感謝しております。ありがとうございました。

事業名 なかゆくいロビーコンサート

糸満市教育委員会では、皆様より寄せられたご寄付を、「なかゆくいロビーコンサート事業」に活用する事ができました。市外から糸満市を応援してくださる皆様に感謝しております。ありがとうございます。

【事業概要】

市民が気軽にプロによる質の高い演奏を楽しめる機会を設け、音楽への関心と本市の音楽文化の振興を図るとともに、市民文化活動拠点としての文化施設整備への機運を高める事を目的に、市役所庁舎1階ロビーにて昼食時間を利用した室内音楽コンサート「なかゆくいロビーコンサート」を開催しました。

【事業報告】

① 内容

実施日	令和元年 8 月 21 日(水)	令和元年 12 月 19 日(木)
場所	糸満市役所庁舎 1 階ロビー	
時間	12 時～12 時 50 分	
観覧料	無料	
演奏団体	琉球交響楽団 木管五重奏	琉球交響楽団 弦楽四重奏
来場者	約 110 人	約 120 人
演奏曲目	ディベルティメント第 1 楽章 「くるみ割り人形」より葦笛の踊り 「ニュー・シネマ・パラダイス」メドレー 「となりのトトロ」メドレー ドレミの歌 もくごでウェディング ～フィガロの結婚序曲 主よ、人の望みの喜びよ 愛のあいさつ 誰も寝てはならぬ～ ♪アンコール♪ ホール・ニュー・ワールド	愛のあいさつ 芭蕉布 ていんさぐぬ花 アイネクライネナハトムジークより第 1 楽章 小さな世界 パプリカ サウンドオブミュージック 星に願いを ジングルベル サンタが街にやってくる 情熱大陸 ♪アンコール♪ 踊り明かそう

② ロビーコンサートの様子

8月21日開催の様子



出演者による楽器の説明もあります。夏休みという事もあり親子連れの姿もみられました。

12月19日開催の様子



季節感を高めるため、出演者が赤い帽子を着用し演奏してくれました。

③ ロビーコンサート感想(一部抜粋)

- ・解説が分かり易く、誰にでも分かって大変良かった。知っている曲ばかりでとても楽しめました。ありがとうございました。
- ・きれいな演奏で、普段は味わえない雰囲気を感じられて嬉しかったです。知人の紹介で来ましたが、隣で聴いていた知人は号泣しておりました。どれもすばらしかったです。ありがとうございます。
- ・すばらしい演奏でした。弦楽器の魅力を身近で味わえる機会となりました。是非、定期的に企画して欲しいです。
- ・近くの市役所でコンサートが聞けるのは、本当にありがたいです。次回も期待しています。
- ・小さい子供たちが鑑賞していてうれしかったです。生の音をきけて幸せですね。
- ・生演奏を聞く機会が少ない糸満ではすごく嬉しい会です。
- ・糸満市でオーケストラを聞きたい。

【事業成果】

今年度は事業を2回実施する事ができ200名以上の方に、質の高い音楽を提供する機会ができました。大人のみならず子ども達の来場もあり、演奏者と来場者が一体となったコンサートを開催することができました。アンケートを実施したところ、9割の方がコンサートの評価を「良い」または「非常に良い」と選択しており、2回のコンサートとも好評でした。次回の開催を期待する意見も多くあり、音楽文化の振興を図る本事業の目的に沿った公演となりました。

事業名 いとまん平和トリムマラソン推進事業

事業概要

本市の「スポーツ健康都市宣言」の趣旨に則り、多くの住民がスポーツに親しみ、健康・体力づくりを図り、親睦と融和により、平和や福祉に対する意識の高揚を推進して、スポーツの振興と地域の活性化を促進することを目的に第2回いとまん平和トリムマラソンの参加案内を行ったところ、子どもから大人、障がい者まで、また県内外から6,196名の参加申込みがありました。

今回は、前回の参加者の声を参考に10kmコースの新設、ハーフマラソン及び10kmコースはタイムレースにする等、より良い大会にすべく、3月15日(日)の大会開催に向けて準備を進めておりました。

しかしながら全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大する中、沖縄県も感染者が出たこともあり、参加されるランナーの皆様、大会スタッフ、ボランティア等の多くの方の安心安全の確保が難しいと判断し、2月25日に中止することを決定いたしました。

次回大会は、今大会が開催できなかった分、更に盛り上がって開催できるよう努めてまいります。ありがとうございました。

(糸満市ふるさと応援基金充当額：3,782,542円)

参加申込状況

都道府県別

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
北海道	3	東京都	20	大阪府	9	香川県	4
宮城県	1	神奈川県	9	兵庫県	10	高知県	1
茨城県	2	新潟県	2	奈良県	1	福岡県	13
群馬県	1	長野県	1	和歌山県	1	沖縄県	6,093
埼玉県	7	愛知県	8	島根県	1		
千葉県	7	滋賀県	1	徳島県	1	計	6,196

県内市町村別

市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	市町村名	人数
うるま市	56	久米島町	5	中城村	32	豊見城市	796
伊江村	3	宮古島市	2	渡嘉敷村	7	北谷町	13
浦添市	221	金武町	1	読谷村	30	北中城村	13
沖縄市	55	国頭村	1	那覇市	1,428	本部町	10
恩納村	8	座間味村	2	南城市	214	名護市	35
嘉手納町	4	糸満市	2,043	南大東村	1	与那原町	118
宜野座村	1	西原町	116	南風原町	305		
宜野湾市	137	石垣市	15	八重瀬町	421	計	6,093

種目別

種目	性別	参加者	大人	小人	申込人数	男女別計	種目別計	
ハーフマラソン コース	男子	一般	1,439	28	1,476	1,477	1,853	
		視覚障がい者	2	0	2			
		障がい者	7	1	8			
	女子	一般	366	9	375	376		
		視覚障がい者	0	0	0			
		障がい者	1	0	1			
10km コース	男子	一般	406	15	421	427	636	
		視覚障がい者	3	0	3			
		障がい者	3	0	3			
	女子	一般	206	3	209	209		
		視覚障がい者	0	0	0			
		障がい者	0	0	0			
5km コース	男子	一般	198	175	373	384	610	
		視覚障がい者	4	1	5			
		障がい者	6	0	6			
	女子	一般	151	70	221	226		
		視覚障がい者	2	0	2			
		障がい者	3	0	3			
車イス コース	男子	障がい者	33	2	35	35	47	
	女子	障がい者	12	0	12	12		
ファミリー コース	男子	一般	570	1,037	1,607	1,634	3,050	
		視覚障がい者	3	1	4			
		障がい者	18	5	23			
	女子	一般	583	810	1,393	1,416		
		視覚障がい者	6	0	6			
		障がい者	11	6	17			
計	男子	一般	2,613	1,255	3,868	3,957	6,196	
		視覚障がい者	12	2	14			
		障がい者	67	8	75			
	女子	一般	1,306	892	2,198	2,239		
		視覚障がい者	8	0	8			
		障がい者	27	6	33			
	計	一般	3,919	2,147	6,066	6,196	/	
		視覚障がい者	20	2	22			
		障がい者	94	14	108			
合計			4,033	2,163	6,196			



平和トリム 受け付け開始 糸満

【糸満】2020年3月15日に開催される「第2回いとまん平和トリムマラソン」(主催・いとまん平和トリムマラソン実行委員会、糸満市、糸満市教育委員会、共催・琉球新報社など)のインターネットと郵便振替などでの受け付けが20日から始まった。2020年2月7日まで、同実行委員会会長の上原昭市長は「トリムマラソンは無理なく楽しめるので多くの人に参加してほしい」と呼び掛けた。

市西崎運動公園を発着点に開催。障がいの有無にか

かわらず参加できる。今回から10キロを新設し、ハーフマラソンと10キロはタイムレースとなる。トリムの部は5キロ、車いす5キロ、ファミリー(3.1キロ)の3種目。参加料は大人(19歳以上)3千円、子ども(18歳以下)と障がいがある人は2千円。

糸満市役所など窓口での受け付けは2020年1月9日から2月7日まで。市は成功に向けふるさと納税を活用したクラウドファンディングで寄付も募っている。

問い合わせは同実行委員会 ☎098(840)8164。

第2回 いとまん平和トリムマラソン
ふんが主役 ふんがいきましょん

糸満市西崎運動公園 (スタート/ゴール)
開会式 8年前8時00分 (スタートゲート前)
スタート 8年前8時30分

2020年 3月15日(日)

会場: 糸満市西崎運動公園 (スタート/ゴール)
開会式 8年前8時00分 (スタートゲート前)
スタート 8年前8時30分

◆インターネット受付・郵便振替(払込取扱票)◆
電話エントリー ☎0570-001-461(大倉ID:239793)
申込期間: 令和元年1月9日(日)～2月7日(日)まで
※窓口受付: 変更がない場合は「随時受付」へ
※申込料: 大人 5,000円(税込) 小人 2,000円(税込) 障がい者サポート料 別途1千円、郵便振替手数料
糸満市役所社会体育課 ☎098-840-8164 / 糸満市役所3階総務課 ☎098-840-8113 / 西崎総合体育館 ☎098-842-4527 / 沖縄県視覚障害者福祉協会 ☎098-863-2997
申込期間: 令和元年2月9日(火)～2月27日(金)
糸満市役所社会体育課 ☎098-840-8164 / 糸満市役所3階総務課 ☎098-840-8113 / 西崎総合体育館 ☎098-842-4527 / 沖縄県視覚障害者福祉協会 ☎098-863-2997
申込期間: 令和元年2月9日(火)～2月27日(金)
糸満市役所社会体育課 ☎098-840-8164 / 糸満市役所3階総務課 ☎098-840-8113 / 西崎総合体育館 ☎098-842-4527 / 沖縄県視覚障害者福祉協会 ☎098-863-2997
申込期間: 令和元年2月9日(火)～2月27日(金)
糸満市役所社会体育課 ☎098-840-8164 / 糸満市役所3階総務課 ☎098-840-8113 / 西崎総合体育館 ☎098-842-4527 / 沖縄県視覚障害者福祉協会 ☎098-863-2997



3月15日 第2回いとまん平和トリムマラソン

共走の笑顔つなごう
10キロ新設車いす、ハーフなど5種目

全員完走へ胸わくわく

大希おきなわ

「大希おきなわ」は、2018年までなんかいとまんマラソンに10回以上出場してきた。今年からはいとまん平和トリムに挑戦している。賞状がもらえるメンバーは15人とスタッフ約40人が同時に完走を望む。

ランニングの楽しさを伝えるために、今年も「いとまん平和トリムマラソン」を開催する。大会は、市民の健康増進と、市民の交流を目的として開催される。大会は、市民の健康増進と、市民の交流を目的として開催される。大会は、市民の健康増進と、市民の交流を目的として開催される。



「第2回いとまん平和トリムマラソン」開催中止について | 第2回いとまん平和トリムマラソン【公式】 | 1/2 ページ

「第2回いとまん平和トリムマラソン」開催中止について

開催日: 2020年3月15日

いとまん平和トリムマラソン実行委員会では、令和元年3月15日(日)に開催を予定していた「第2回いとまん平和トリムマラソン」について沖縄県内で新型コロナウイルスの感染が広がっている現状を受け、参加されるランナーの皆さま、大会スタッフ、ボランティア等多くの方々の安全・安心の確保が難しいと判断し、本大会を中止することに決定いたしました。

参加されるランナーの皆さまの心中を察すると誠に心苦しく思いますが、苦渋の決断であることをご理解いただけますようお願い申し上げます。

参加申し込みしたランナーの皆さまから頂いた参加料については、大会開催に向けて多くの費用を費やしてはいますので、大会契約事項にもあるように返金は行わないこととしております。3月17日(火)以前に記念Tシャツをお送りいたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◆マイページ

▲こちらが当大会のエントリー履歴やレース結果を見ることができます。

交通規制のご協力をお願いします

いとまん平和トリムマラソン 団体参加申込書

障がい者・バトロールボランティア募集

糸満市ふるさと応援サイト

ふるさとチョイス

大会パンフレットダウンロード

PDFファイル

「第2回いとまん平和トリムマラソン」開催中止について

開催日: 2020年3月15日

いとまん平和トリムマラソン実行委員会では、令和元年3月15日(日)に開催を予定していた「第2回いとまん平和トリムマラソン」について沖縄県内で新型コロナウイルスの感染が広がっている現状を受け、参加されるランナーの皆さま、大会スタッフ、ボランティア等多くの方々の安全・安心の確保が難しいと判断し、本大会を中止することに決定いたしました。

参加されるランナーの皆さまの心中を察すると誠に心苦しく思いますが、苦渋の決断であることをご理解いただけますようお願い申し上げます。

参加申し込みしたランナーの皆さまから頂いた参加料については、大会開催に向けて多くの費用を費やしてはいますので、大会契約事項にもあるように返金は行わないこととしております。3月17日(火)以前に記念Tシャツをお送りいたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。